

# 2022年8月期決算説明会資料

株式会社エヌ・ピー・シー（グロース：6255） 2022年10月14日

---



## INDEX

1. 2022年8月期業績
2. 市場環境 当社の取り組み
3. 2023年8月期業績予想
4. 中期経営計画（2023年8月期～2025年8月期）

# 2022年8月期業績

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

2

## 2022年8月期 決算概要 連結損益計算書



(単位：百万円)

	2021年8月期		2022年8月期					
	実績		修正予想 (2022.4.12)		実績			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	修正予想比 (%)
売上高	7,823	100.0	4,454	100.0	<b>4,379</b>	100.0	△ 44.0	△ 1.7
売上総利益	2,138	27.3	1,311	29.4	<b>1,526</b>	34.8	△28.6	16.4
販売管理費	966	12.3	943	21.2	<b>906</b>	20.7	△6.2	△ 3.9
営業利益	1,172	15.0	368	8.3	<b>620</b>	14.2	△47.1	68.5
営業外収益	3	0.0	25	0.6	<b>24</b>	0.5	700.0	△ 4.0
営業外費用	24	0.3	6	0.1	<b>27</b>	0.6	12.5	0
経常利益	1,151	14.7	387	8.7	<b>617</b>	14.1	△46.4	59.4
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	<b>82</b>	-	-	-
税引前当期純利益	1,151	14.7	387	8.7	<b>535</b>	12.2	△53.5	△50.0
法人税等	203	2.6	6	5.0	<b>3</b>	0.1	△98.5	△29.3
法人税等調整額	169	2.2	215	-	<b>152</b>	3.5	△10.1	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	778	9.9	165	3.7	<b>379</b>	<b>8.7</b>	△51.3	129.7

(注) 1. 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。  
2. 前期比及び修正予想比はその増減比です。

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

3

## 売上高

- ・フランス向け太陽光パネル自動解体ラインが船便の遅れにより検収時期が先になり、売上計上が来期になった
- ・その他の案件はほぼ予定通り推移した

## 売上総利益

部品の長納期化や値上がりの影響前の案件があったことと、製品保証引当金の取り崩しがあったため、結果的に利益率が高くなった

## 販売管理費

主に租税公課、支払手数料、研究開発費が減少した

## 営業利益・経常利益

売上総利益の増加と販売管理費の減少により、予想を上回った

## 親会社株主に帰属する当期純利益

- ・植物工場ビジネスの生産設備を減損損失し特別損失を計上したが、経常利益が増加し、来期業績予想に基づいて繰延税金資産を計上した
- ・上記により予想を上回った

# 2022年8月期 決算概要 装置関連事業

(単位：百万円)

	2021年8月期		2022年8月期					
	実績		修正予想 (2022.4.12発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	修正予想比(%)
売上高	7,511	100.0	4,031	100.0	<b>4,090</b>	<b>100.0</b>	△45.5	1.5
売上総利益	2,048	27.3	1,214	30.1	<b>1,487</b>	<b>36.4</b>	△27.4	22.5
販売管理費	316	4.2	296	7.3	<b>268</b>	<b>6.6</b>	△15.2	△9.5
営業利益	1,731	23.0	917	22.7	<b>1,218</b>	<b>29.8</b>	△29.6	32.8

(注) 1. 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。  
2. 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び修正予想比はその増減比です。

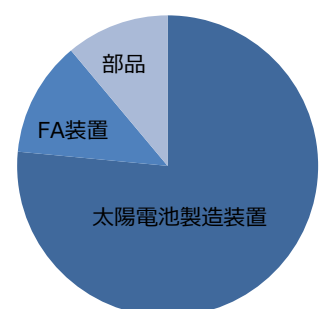
## ■ 売上高

- ・太陽電池製造装置：  
First Solar社の既設ラインの改造や増設を実施  
国内太陽電池メーカーに装置を売上
- ・FA装置：電子部品業界の国内主要顧客や自動車業界等に売上計上
- ・部品：堅調に受注・売上計上

## ■ 売上総利益

部品の長納期化や値上がりの影響前の案件があったことと、製品保証引当金の取り崩しがあったため、結果的に利益率が高くなった

## 売上高の内訳



# 2022年8月期 決算概要 環境関連事業

(単位：百万円)

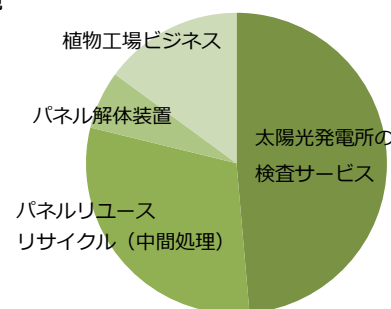
	2021年8月期		2022年8月期					
	実績		修正予想 (2021.4.12発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	修正予想比(%)
売上高	311	100.0	423	100.0	288	100.0	△7.4	△31.9
売上総利益	89	28.6	97	22.9	39	13.5	△56.2	△59.8
販売管理費	60	19.3	70	16.5	65	22.6	8.3	△7.1
営業利益	29	9.3	26	6.1	△25	-	-	-

(注) 1. 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。  
2. 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び修正予想比はその増減比です。

## ■売上高

- ・検査サービス：大規模太陽光発電所の竣工前検査やスポット検査を予定通り実施
- ・リユース・リサイクル：ほぼ予定通りの売上を計上
- ・パネル解体装置：  
フランスの産廃業者にフレーム除去装置は売上計上したが、自動解体ラインは船便の遅れのため来期となった
- ・植物工場ビジネス：フル生産であり生産分はほぼ全て販売した

## 売上高の内訳



## ■売上総利益

自動解体ラインの売上が期ずれしたことで予定を下回った

# 受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2021年8月期		2022年8月期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	5,363	5,792	6,241	16.4	7,943	37.1
環境関連事業	215	101	673	213.0	485	380.1
合計	5,579	5,893	6,914	23.9	8,429	43.0

(注) 1. 2021年8月期の受注残高は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。  
2. 前期比はその増減比です。

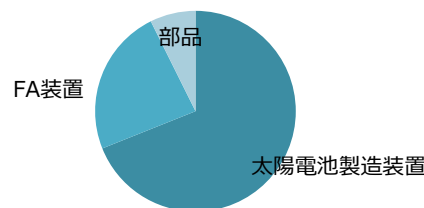
## 装置関連事業

全体的に好調となった

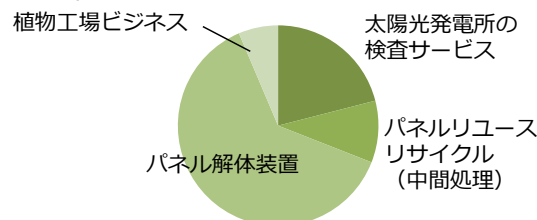
- ・太陽電池製造装置：  
First Solar社の米国・インド工場向け装置を受注  
次の新工場向け装置は2023年8月期に受注見込み  
国内太陽電池メーカーから衛星用パネル向け装置を受注
- ・FA装置：  
国内電子部品業界の主要顧客からの受注が大幅に増加

## 装置関連事業

## 受注高の内訳



## 環境関連事業



## 環境関連事業

- ・検査サービス、リユース・リサイクル：堅調に受注
- ・パネル解体装置：好調に受注を獲得  
自動解体ライン 3ライン (仏・日)  
フレーム除去装置 2セット (米・日)

# 2022年8月期 決算概要 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021.8末	2022.8末		2021.8末	2022.8末
<b>資産</b>	<b>10,004</b>	<b>12,296</b>	<b>負債</b>	<b>3,017</b>	<b>5,186</b>
<b>流動資産</b>	<b>5,954</b>	<b>8,702</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,973</b>	<b>5,127</b>
現預金	3,326	3,084	買掛金・電子記録債務	484	2,170
受取手形・売掛金・電子記録債権	700	538	前受金	1,970	2,731
仕掛品	1,805	4,668	引当金	326	53
原材料・貯蔵品	5	17	その他	193	173
その他	118	395	<b>固定負債</b>	<b>44</b>	<b>58</b>
<b>固定資産</b>	<b>4,049</b>	<b>3,594</b>	<b>純資産</b>	<b>6,986</b>	<b>7,110</b>
建物・構築物（純額）	1,970	1,789	資本金・資本剰余金	5,555	5,553
土地	1,548	1,548	利益剰余金	1,453	1,789
その他	531	257	自己株式	△53	△344
			その他	31	112

(注) 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。

## 変動要因について

- ・ 好調な受注により総資産が拡大し、仕掛品・買掛金・前受金等が増加
- ・ 2021年10月に自己株式を取得（310百万円）
- ・ 製品保証引当金を取り崩し引当金が減少
- ・ 減価償却と減損損失の計上等により固定資産が減少

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

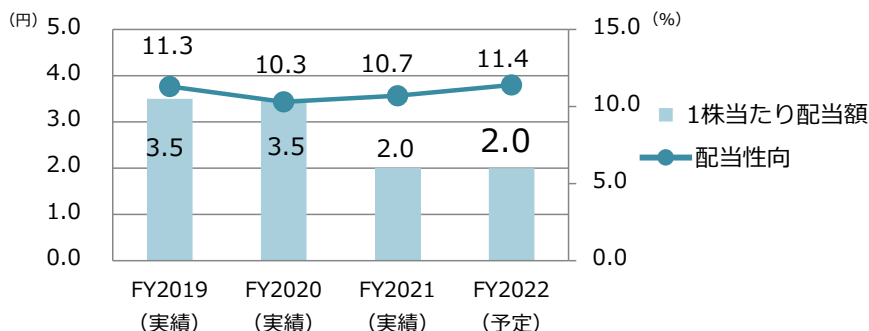
8

# 株主還元

## 剰余金の配当

### 配当額を維持

- ・ 1株あたり2.0円（期初予想どおり）
- ・ 配当総額：42,987千円



(注) 各会計期間の会計基準に従い算出した利益で計算した数値となっております。

## 自己株取得

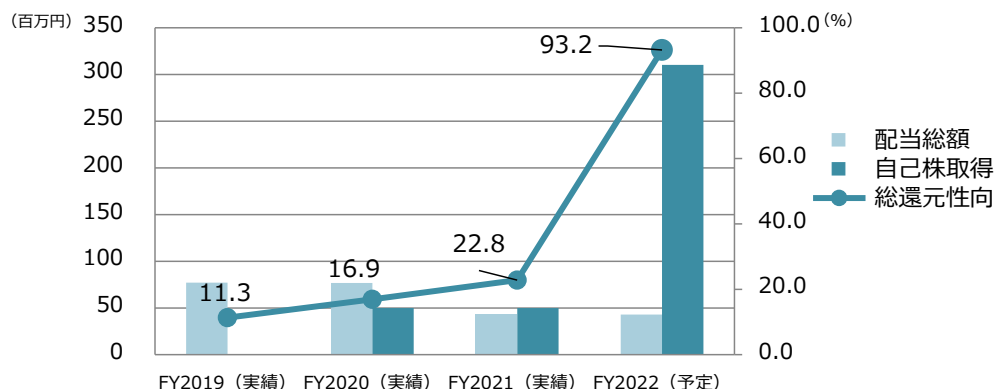
期間：2021年10月13日～25日

株数：450,000株

金額：310,300千円

発行済株式総数に対する割合：

2.05%



Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

9

# 市場環境 当社の取り組み

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

10

## 装置関連事業：①太陽電池製造装置 米国太陽電池市場



### 米国太陽電池市場

- ・インフレ抑制法の成立（2022年8月16日）  
= 気候変動対策に10年で3,700億ドル  
サプライチェーンの自立化を目指して国内製造を支援
- (1) ITC（投資に対する税額控除）を10年延長（2034年まで）  
長期的に太陽光発電設置を支援
- (2) 太陽光発電関連メーカーに対する生産量に応じた税額控除  
薄膜系セル、結晶系セル：セル出力に応じ0.4ドル  
太陽光パネル：パネル出力に応じ0.07ドル など

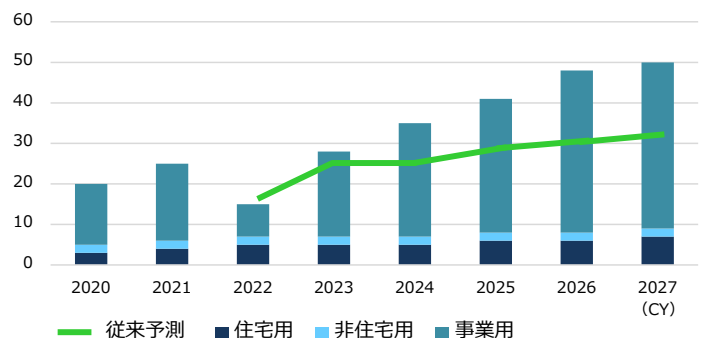


### ・太陽光発電関連の設備投資が活発化

法案成立後、太陽光パネル、ウェハー、セル、ポリシリコン、インバーター等の製造業者が相次いで設備投資を発表

(GW)

### ・太陽光発電市場の成長予測が40%向上



出所：SEIA, Wood Mackenzie

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

11

# 装置関連事業：①太陽電池製造装置 First Solarとの取引

## First Solarの生産能力

	生産能力 (GW)	場所	稼働	当社取引	当社売上計上予定
0-5 (既設)	9.5	米国オハイオ マレーシア ベトナム	稼働中	装置納入済 改造・増設継続	—
6	3.3	米国オハイオ	2023年	受注済・現地調整中	2023年8月期
7	3.3	インド	2023年	受注済・製作中	2023年8月期
増設	0.9	米国オハイオ	2024年	受注見込	2024年8月期
8	3.5	米国南東部	2025年	受注見込	2024年8月期

First Solarの工場所在地



2021年のパネル出荷量ランキング

	国名	社名
1	中国	LONGi Solar
2,3	中国	Trina Solar / JA Solar
4	中国	JinkoSolar
5	中国/カナダ	Canadian Solar
6	中国	Risen Energy
7	韓国	Hanwha Q CELLS
8	米国	First Solar
9	中国	Suntech
10	中国	Astronergy

(出所: PV Infolink)

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

# 装置関連事業：①太陽電池製造装置 First Solar以外の取引

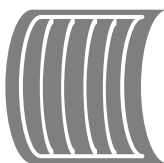
当社の太陽電池製造装置の実績と経験を活かし受注獲得を目指す

## 衛星用太陽電池



- ・米国の実績がある衛星関連のメーカーにおいて増設予定
- ・2022年8月期 国内衛星用太陽電池メーカーからの受注を獲得
- ・米国を中心に民間宇宙開発が活発化しており、需要の継続が見込める

## 次世代型太陽電池



- ・米国を中心に特殊用途の太陽電池メーカーが増加
- ・ペロブスカイト型太陽電池のパイロット生産のプロジェクトがスタートしており、将来的に量産が行われる見通しが出てきた
- ・薄膜系太陽電池の経験を活かせる

## その他太陽電池



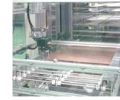
- ・2022年8月期 国内住宅用太陽電池メーカーに装置を売上
- ・米国ではインフレ抑制法の成立以後メーカーから問い合わせ多数
- ・米国以外の地域でも脱中国製パネル依存の動きがあり、過去に装置を納入したメーカー等から問い合わせがある

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

## FA装置（オーダーメイド製品）

- ・電子部品業界の国内主要顧客との取引  
2022年8月期、予想を上回る受注を獲得  
今後中長期にわたる設備投資計画に基づき  
リピート受注を見込む
- ・自動車業界等の顧客  
実績にもとづきリピート受注を目指す

FA装置の技術・経験と松山工場の生産能力を全面的にアピールし、安定顧客を獲得する



ハンドリング装置



車載部品の組立ライン

## 真空貼合装置（スタンダード製品）

様々な形状のワークの貼り合せが可能  
用途が広く幅広い引き合いあり



テスト機を使用して様々な用途に対応  
顧客の新製品開発への活用

# 装置関連事業：製造キャパシティ

## 工場スペース

	A棟	B棟	C棟	D棟	E棟
幅×長さ	約100m×40m	約100m×40m	約85m×40m	約85m×40m	約85m×40m
床面積	4,048.6m <sup>2</sup>	4,048.6m <sup>2</sup>	3,361.8m <sup>2</sup>	3,361.8m <sup>2</sup>	3,361.8m <sup>2</sup>
天井高	8.1m	8.1m	8.37m	8.37m	8.37m

A棟、D棟をFirst Solar、E棟を国内電子部品業界の主要顧客案件に充てる  
他の案件にも十分な製造スペースを確保している



工場棟内部

## 人員体制

- ・協力会社（候補含め11社）に組み立てや現地作業を一部委託
- ・派遣社員により組み立て人員を補強
- ・組立、配線、デバッグ、調整などの工程ごとに重複しないようスケジュールを調整・管理

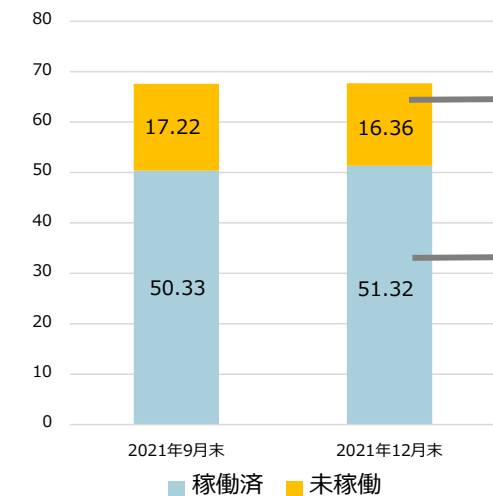
複数のプロジェクトの同時進行を可能にする



## ①太陽光発電所の検査サービス

### FIT案件の検査市場

(GW) FIT案件の稼働状況



- 使用前自主検査**
  - ・ 当社の得意とする精密検査
  - ・ 今後2-3年は需要の継続が見込まれる
  - ・ 30MW以上をターゲットに提案可能な40件に絞って営業を強化する
- 定期検査**
  - ・ 外観検査・電圧測定・絶縁抵抗測定等の簡易検査が中心
  - ・ パネル洗浄など、メンテナンスも含め積極的に提案する
  - ・ 大規模発電所だけでなく小規模の発電所を含め営業

(出所：経済産業省)

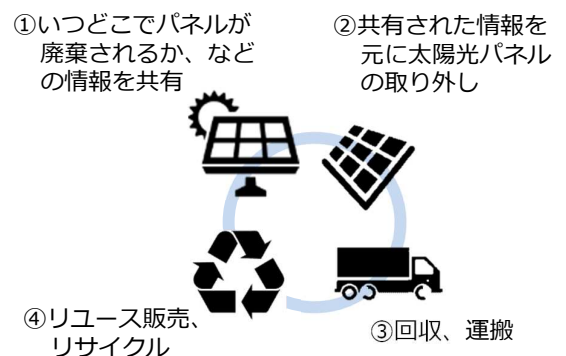
### その他の検査市場

- ・ 自家消費、PPAの増加 → 住宅、店舗の屋根上などの太陽光パネルの管理・リース事業者に検査を提案する
- ・ その他、風力発電の使用前検査も提案できるよう検証中

## ②太陽光パネルのリユース・リサイクル

### 太陽光パネルの回収体制を構築し、パネルを確実に回収する

- ・ 排出パネル量はまだまだ少ない  
処理方法がルール化されていないため、適正に処理されていない可能性がある
- ・ 松山市に対し、発電事業者、電気工事会社、工務店、収集運搬業者、産廃処理業者などのネットワーク構築を提案する
- パネルの適切な処理についての周知活動や、ネットワーク内でのパネル排出情報の共有によりパネルを着実に回収
- NPCは周知活動や回収したパネルのリユース・リサイクルを担当



### リサイクル率の向上、用途開発によるコスト削減

- ・ リサイクル率96.9% (エヌ・ピー・シー松山工場、2021年実績)  
唯一廃棄しているJ-BOXの再資源化を検証
- ・ 排出パネルから回収したガラス  
= 現在はガラス砂として緩衝材などに使用  
ガラスファイバー、タイルなどの付加価値の高い用途の開発によってリサイクルコスト低減を目指す

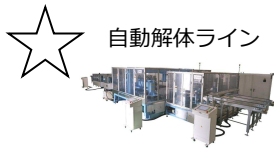


エヌ・ピー・シー松山工場で回収したJ-BOX (上)  
板ガラス (右)  
割れガラス (左)



# 環境関連事業： ③パネル解体装置

## 国内外の納入実績および見込み



ガラス分離装置を含む  
ホットナイフ分離法®搭載の全自動  
ライン



リサイクルしやすいアルミフレーム  
とJ-Box（銅線）を除去する装置

★● 納入実績  
☆○ 納入見込

2022年8月期の問合せ件数  
35か国から約170件



フランスの産業廃棄物業者  
での導入

同業者のリサイクル工場  
オープニングセレモニー  
(2022/9/27)

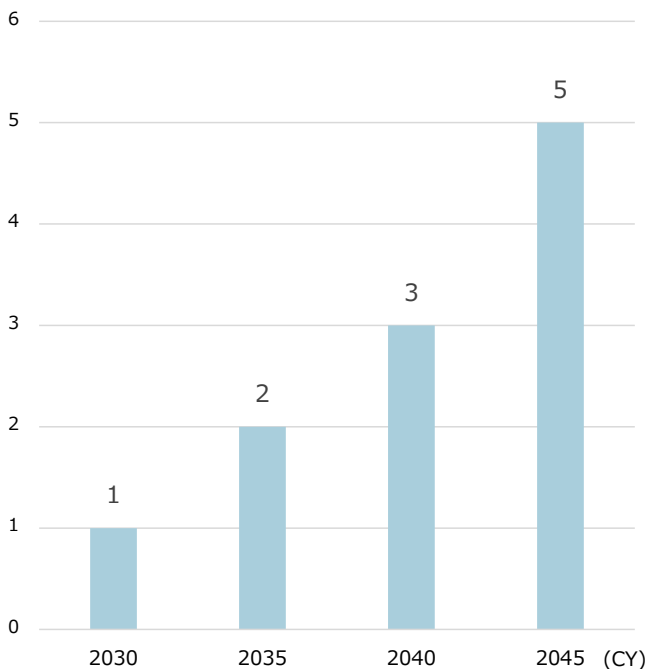
Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

# 環境関連事業： ③パネル解体装置

## 市場の目安

・世界のパネル排出量概算予測（単年）

(百万トン)



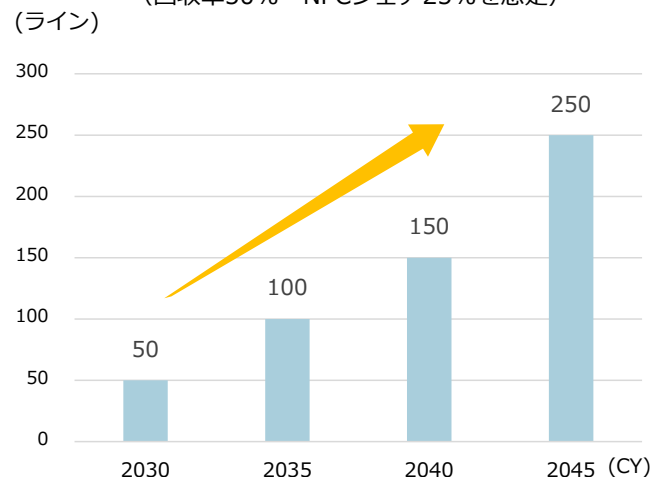
(出所: "Status-of-PV-Module-Recycling", IEA PVSP, 2022をもとにNPC作成)

・全自動パネル解体ラインのキャパシティ

年間（8時間×300日）  
太陽光パネル14.4万枚  
= 2,500t/年の処理が可能



世界の排出量概算予測に基づく必要台数  
(回収率50% NPCシェア25%を想定)



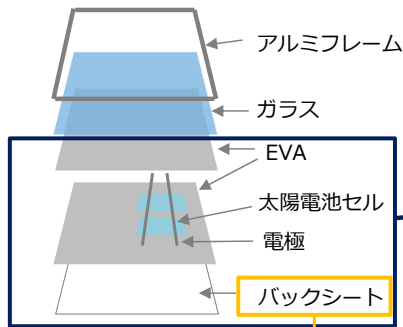
Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

## 環境関連事業： ③パネル解体装置

### ラインナップ拡充

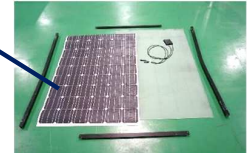
#### バックシート除去装置の開発

##### ・太陽光パネルの構造



##### ・当社の太陽光パネル解体装置で解体した部材

区分	部材	2021年
		構成割合(%)
有価物	J-BOX(ケーブル)	0.8
	アルミフレーム	14.6
	ガラス	0.0
廃棄物	セルシート	14.3
	リサイクル砂	67.2
	ガラス屑	2.1
	J-BOX	0.9



セルシートにはEVA、セル、電極、バックシートが含まれており、有価物として販売している

バックシートだけを取り除く装置を開発する

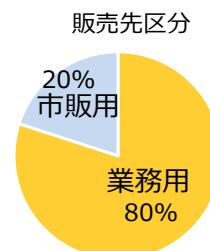
##### ・セルシートの有価物としての価値

- = 電極に含まれる銀の価値が最も高い
- = バックシートを除去することで、セルシート全体の重量が減り、重量当たりの銀の含有率が上がるのでセルシートの販売価格が上がり、リサイクルコストを低減することができる
- = バックシートに含まれるフッ素樹脂を取り除くことで、金属の回収を効率的に行える可能性が出てくる

## 環境関連事業： ④植物工場ビジネス

### 2022年8月期の生産・販売実績

- ・生産量：約1,080kg/週
- ・生産品目：グリーンリーフ、フリルレタス、サニーレタス
- ・フル生産し、生産量のほぼ全量を販売している 安定顧客も獲得済
- ・しかし原材料費及び人件費等が上昇傾向にあること、また現時点では想定していた価格での販売が難しいことから、設備投資額の回収が見込めない状況となり、生産設備を減損損失した



### 今後の目標

- ・付加価値の高い品種に切り替える
- ・気候変動に影響されない安全な作物であることをアピールし販売価格を引き上げる
- ・栽培の効率化によりコストダウンを図る
- ・サステナブルなビジネスとして継続する

## 産業廃棄物処理業者向けFA装置



- AIを活用した自動判定システム
- ロボットによる自動選別  
手作業のごみ分別を自動化し、  
安全衛生、人手不足などの課題解決

補助金なしでも導入可能な価格帯で販売先を拡大

## 鶏糞による肥料化ビジネス

- 鶏糞をメタン発酵させ、発酵残渣を乾燥設備で乾燥、肥料を製造 輸入肥料への依存軽減に貢献
- 発生したメタンガスを利用してバイオガス発電機で発電、乾燥設備や鶏舎の電力を賄う



乾燥機を導入し残渣の乾燥テスト、  
成分分析

定款に事業目的を追加し  
事業の柱を増やすため積極的に投資を継続する

# 2023年8月期業績予想

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2023年8月期（予想）			
	第2四半期（累計）		通期	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
売上高	4,549	100.0	9,034	100.0
装置関連事業	4,330	95.1	8,409	93.0
環境関連事業	219	4.8	624	6.9
売上総利益	566	12.4	1,297	14.3
装置関連事業	507	11.7	1,096	13.0
環境関連事業	59	26.9	200	32.0
販売管理費	478	10.5	954	10.6
営業利益	87	1.9	342	3.8
営業外収益	1	0.0	3	0.0
営業外費用	2	0.0	4	0.0
経常利益	87	1.9	342	3.8
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
税引前当期純利益	87	1.9	342	3.8
親会社株主に帰属する当期純利益	70	1.5	283	3.1

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

24

## 2023年8月期 業績予想

## 売上高

## 装置関連事業

- ・ First Solar社の米国・インド工場向け装置
- ・ 国内太陽電池メーカー向け衛星用太陽電池製造装置
- ・ 国内電子部品業界の主要顧客、その他自動車関連等の顧客向けFA装置

## 環境関連事業

- ・ パネル解体装置の国内外への売上
- ・ 検査サービス等の堅調な売上を見込む

## 費用・利益

- ・ 部品の長納期化、部品価格の値上げにより利益率が低調となる
- ・ 販売管理費では人件費等の上昇を見込む

## 配当予想

- ・ 1株あたり2.0円を継続（配当性向15.2%）

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

25

## 設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位：百万円)

	2021年8月期 実績	2022年8月期 実績	2023年8月期 予想	備考
設備投資費	224	70	61	IT関連設備 等
減価償却費	204	229	215	
研究開発費	65	52	41	パネル解体装置のラインナップ追加 鶏糞による肥料化ビジネスの研究開発

## 中期経営計画 (2023年8月期～2025年8月期)

中長期的設備投資の見込まれる太陽電池製造装置、国内向けFA装置を軸に柱となるビジネスを増やし、安定的な成長をめざす

## 売上

### 装置関連事業

#### ①太陽電池製造装置

- ・好調な米国太陽電池市場を背景に、米国主要顧客の設備投資継続が見込まれる
- ・次世代太陽電池等への設備投資が見込まれる

#### ②FA装置

- ・業績が好調な国内主要顧客の中長期的な設備投資計画が見込まれる
- ・固定顧客の獲得を強化

### 環境関連事業

#### ①太陽光パネル解体装置

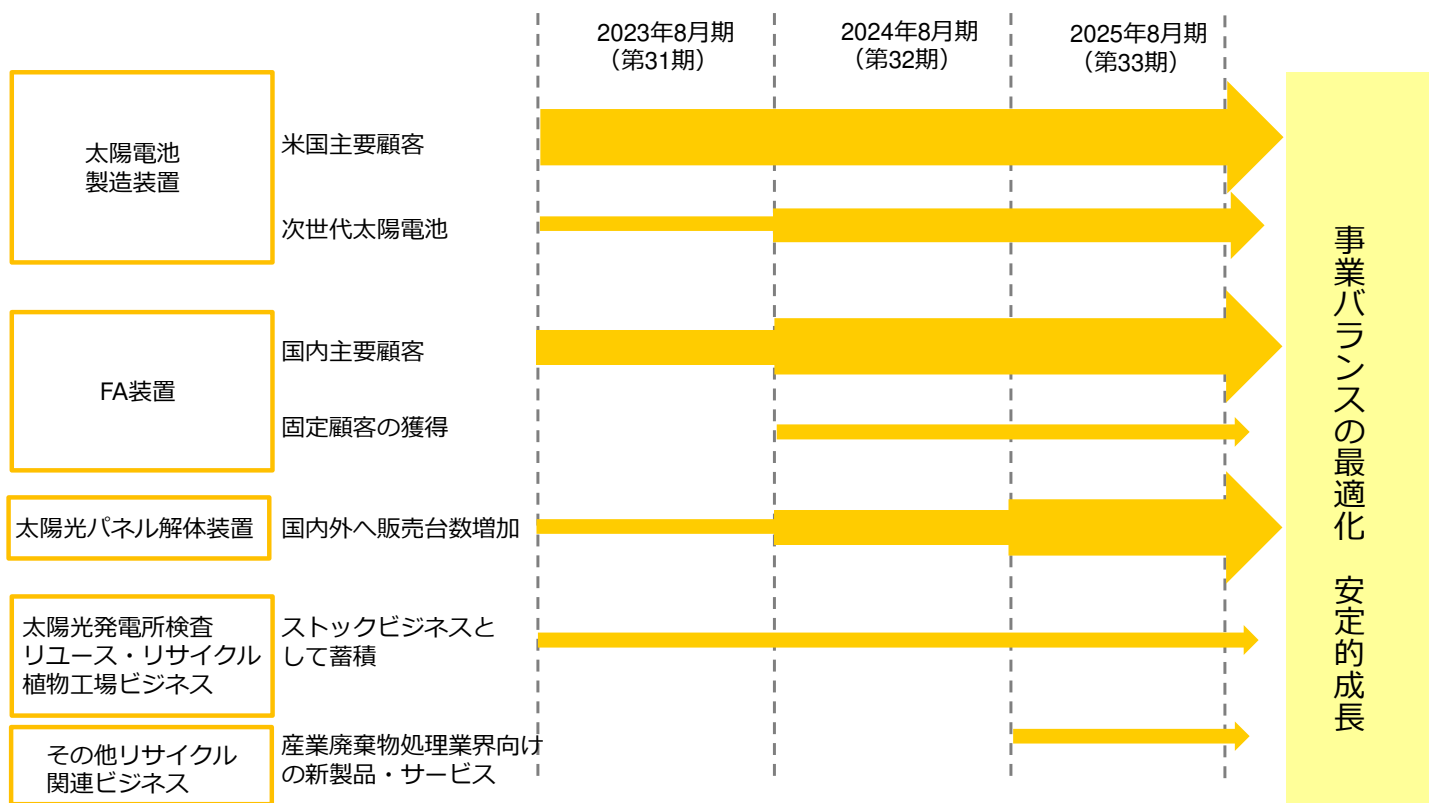
国内外において使用済み太陽光パネルの処理事業に新規参入する産廃業者が増加し、販売台数増加が見込まれる

#### ②太陽光発電所検査サービス、パネルリユース・リサイクル、植物工場ビジネス等のストックビジネスの蓄積

#### ③産業廃棄物処理業界向けの新しい製品やサービスを第33期から見込む

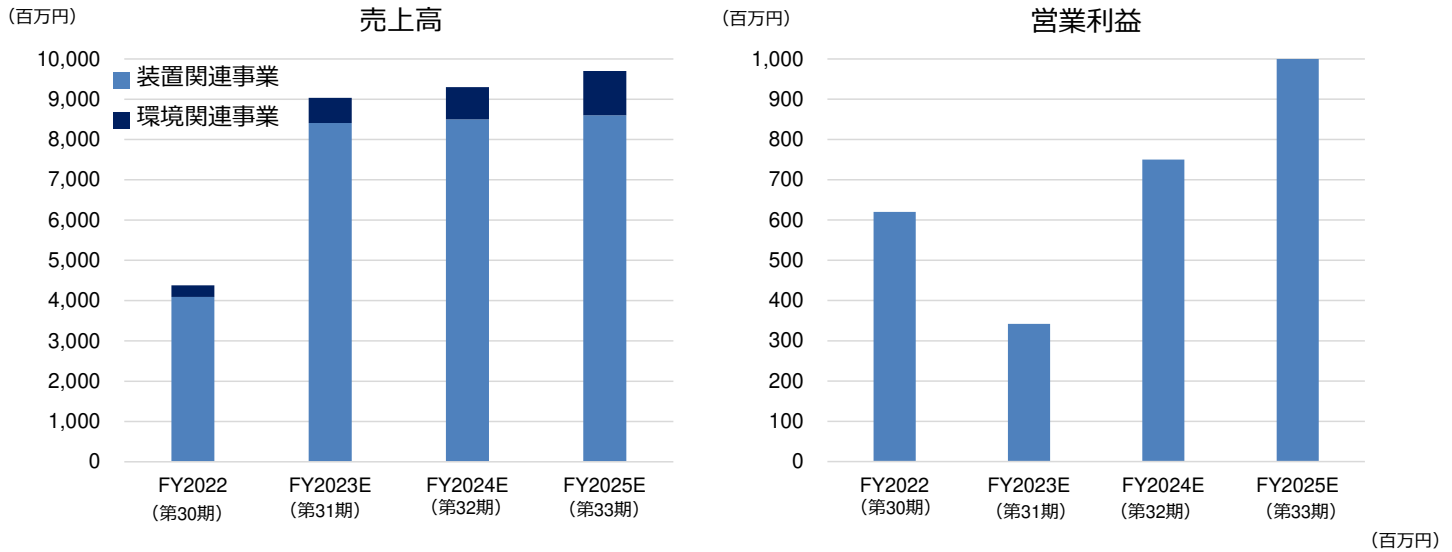
## 利益

- ・部品の長納期化、値上げ、人件費の増加により原価が上昇し利益に影響
- ・販売管理費は3ヶ年でほぼ同水準を見込む
- ・大規模な設備投資は予定していない



# 中期経営計画（2023年8月期～2025年8月期）

## 数値目標



	2022年8月期 (第30期) (実績)	2023年8月期 (第31期) (計画)	2024年8月期 (第32期) (計画)	2025年8月期 (第33期) (計画)
売上高	4,379	9,034	9,300	9,700
装置関連事業	4,090	8,409	8,500	8,600
環境関連事業	288	624	800	1,100
営業利益	620	342	750	1,000




Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

30

## IRメールマガジンのご案内

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

### IRメールマガジン登録のメリット

-  適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。
-  月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。
-  不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

### ■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

31



# 本日はありがとうございました

NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」  
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、  
地域社会等に貢献して参ります。

## IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

### <将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。